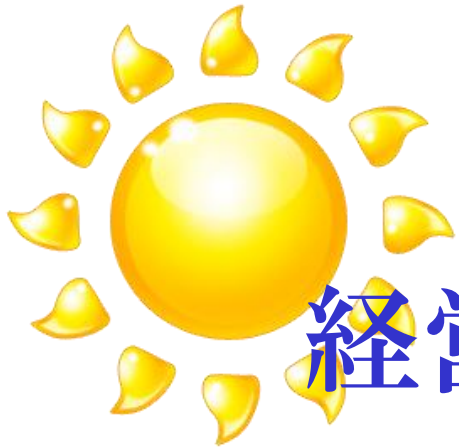




# 首都大学東京 大学院 社会科学研究所



## 経営学演習 「企業倫理論」

### # 2 § CSR概観 §

「江戸時代の企業倫理と生活」

「現代のグローバル社会問題」

2014年4月18日

岡本 享二 (おかもと きょうじ)  
ブレーメン・コンサルティング(株)

# 本日の講義のポイント

- 企業倫理のベースともなるCSRの全体像を確認する
  - 江戸時代に見る企業倫理の発想と庶民の生活
    - 江戸商人の倫理観と家訓
    - なぜ、江戸時代の倫理観や生活が現代社会に重要なのか
- 過去の受講生による発表資料から：
  - 江戸時代の商人の倫理観……「CSR入門」他
  - 江戸時代の庶民生活……「大江戸えころじー事情」他
- グローバルな社会問題を確認する
  - CSR Overview (Orientation)
  - CSR Subjects Matrix
  - CSR Back Buffer
- 次回の講座でのアサイメン(発表項目選定)

# 江戸時代に見る商人の倫理観・家訓

- 「投機的で一発型」の豪商の時代から「本業中心、長期的視野、顧客・社会本位」の地道な事業運営へ
- 江戸時代の家訓を振り返り、現代の企業と比較してみる
- 同一企業の江戸時代と現代の比較（高島屋、三井、住友など）
- 家訓はなぜ世代替わりしても受け継がれていくのか
  - ⇒伊勢神宮の式年遷宮
  - ⇒口頭で伝える口伝と、書きものの違い
- 江戸時代の循環型社会に学び、現代への応用を考える
  - ⇒江戸時代の浮世絵2万枚からの分析
  - ⇒90歳ヒアリング@東北大学環境科学研究科
- 江戸時代の家訓や、循環型社会を考慮した上で、現代のグローバル化の是々非々を考える



# CSR Subjects Matrix

	世代間の公正	世代内の公正	種間の公正
地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"><li>• Geo-Engineering</li><li>• 原発と危機管理</li><li>• IPCC発表</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 先進国の資源調達</li><li>• グローバル化問題</li><li>• 途上国の森林破壊</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• バイオミミクリー</li><li>• 絶滅危惧種の増加</li><li>• 都市開発と生物</li></ul>
CSRの本質部分	<ul style="list-style-type: none"><li>• 先進国の消費問題</li><li>• 鉱物資源の枯渇</li><li>• ランドラッシュ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 先進国の消費問題</li><li>• 貧困の撲滅</li><li>• 紛争鉱物資源</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 先進国の消費問題</li><li>• 生物多様性の保護</li><li>• 資源乱獲違法伐採</li></ul>
CSRのNTH部分	<ul style="list-style-type: none"><li>• 環境配慮製品開発</li><li>• 企業情報の統合化</li><li>• ボランティア活動</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• メセナ活動</li><li>• SHダイアログ</li><li>• 優れた人事施策</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• メセナ活動</li><li>• 動物実験の禁止</li><li>• ボランティア活動</li></ul>
CSRの基本部分	<ul style="list-style-type: none"><li>• 企業統治/法令遵守</li><li>• 企業の環境対応</li><li>• 社是と長寿企業</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 企業統治/法令遵守</li><li>• 危機管理</li><li>• 見せかけのCSR</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 企業の環境対応</li><li>• ゲノム開発と食糧</li><li>• ブルーエコノミー</li></ul>

# CSR Back Buffer

<p>①先んじてCSRを実行するのは愚行か？</p>	<p>CSRの本質を実行するには、経済的にマイナス要因になることが多い。競争有利とは言い難い。他社に先駆けてCSRを実行する必要があるのか。</p>
<p>②ISO26000</p>	<p>全ての組織が社会・環境問題に対して等しく責任を負うことを明確化した国際標準。</p>
<p>③Holistic Mgt System</p>	<p>コンプライアンス・ガバナンス・リスク管理・環境対応などを効果的かつ遺漏なく管理するためのマネジメント・システム。</p>
<p>④資本主義の限界とグローバル化の問題</p>	<p>行き過ぎた金融資本主義のもとではCSRの本質追求を企業にゆだねるには無理がある。資本主義のあり方、グローバル化の功罪を問う。</p>
<p>⑤企業と個人の倫理問題</p>	<p>CSRの遂行は企業や個人の倫理観の問題でもある。現代の倫理とは？ 企業の倫理観とは？ 『CSR特論』⇔『企業倫理論』は相互関係。</p>

- 江戸時代の商人の倫理観は時代とともに変遷した。それはなぜか？
- 江戸時代の倫理観や当時の循環型社会は現代に応用できるか？
- 世界で起きているグローバルな社会問題の根本原因は何か？